

事業番号	16 01 11	事業改善シート (27年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	山岳遭難救助活動経費				担当課	部局	警察本部	
総合5か 年計画	プロジェクト	2-1-4 農山村産業クラスター形成プロジェクト			課・室	山岳安全対策課		
	施策の総合的展開	1-2 強みを生かした観光の振興 1 選ばれる観光地域づくり			E-mail	<a href="mailto:police-sangaku@pref.nagano.lg.jp">police-sangaku@pref.nagano.lg.jp</a>		
					実施期間	S29 ~		

### 1 事業の概要

目指す姿	長野県内を訪れる登山者に対して、県警山岳遭難救助隊及び各警察署山岳高原パトロール隊、各地区山岳遭難防止対策協会が連携し、山岳遭難防止活動と、安全・迅速な山岳救助活動を行い、登山者の安全を確保する。		
現状 (予算編成時)	平成25年中の山岳遭難は、過去最多の300件発生しており、出動人員は、警察官1,554人、各地区山岳遭難防止対策協会救助隊員580人が出動している。(平成26年10月31日現在、既に262件の山岳遭難が発生している。) 山岳遭難は未だ多発傾向にあり、滑落や転倒による遭難、60歳以上の高齢者による遭難が多くを占めている。		
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 警察法、警察法施行令、警察官職務執行法、長野県山岳遭難防止対策協会会則	
	県民との協働による実施: 実施中		

成果目標・ 事業内容	① 成果目標(H27)				
	北アルプス等の著名かつ人気の高い山々を多数抱え、年間70万人を超える登山者が全国から訪れる長野県において、山岳遭難は多発傾向にあることから、遭難救助に関わる救助隊員の技術の向上や装備品の充実を図るとともに、遭難防止活動を強化し、遭難者の安全救助と活動中の救助隊員の事故防止を図る。				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H27事業実績		
			(当初)	(決算)	H28 (当初)
1. 県警救助隊によるパトロール経費	直接	・北アルプス等、主要山岳地帯での常駐パトロール経費等	770	692	825
2. 県警救助隊用装備品の整備	直接	・県警救助隊員が救助活動で使用使用する装備資機材の整備	4,857	7,718	2,741
3. 長野県山岳遭難防止対策協会救助部負担金	負担金	・長野県山岳遭難防止対策協会が行う、救助訓練に関わる経費、救助装備品の購入等の経費の負担金	7,102	7,102	7,102
合計			12,729	15,512	10,668

事業 コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越				
	当初予算	8,817	8,897	12,729	10,668
	補正予算		1,215	3,804	
	合計(A)	8,817	10,112	16,533	10,668
	Aの財源				
	一般財源	7,960	7,970	8,150	8,130
	県債				
	国庫支出金	857	897	1,047	972
	その他	0	1,245	7,336	1,566
決算額(B)	8,704	9,886	15,512		
概算職員数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	
概算人件費	83	83	83	83	
概算事業費(B(A)+C)	8,787	9,969	15,595	10,751	

成果目標の達成状況					
項目	H26末 (実績)	H27			H28 目標
		目標	成果	達成状況	
合同山岳救助訓練の実施	7回	8回	8回	達成	10回

目標に対する成果の状況	救助隊員の救助技術の向上や装備品の充実を図った結果、平成27年中遭難者300人を救助・収容するとともに、活動中の二重遭難事故が無く、救助隊員の事故防止も図られた。
-------------	---

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 山岳遭難は多発傾向にあり、それに伴う救助隊員の出動も多いことから、装備品の整備や救助・パトロール体制を強化するなど、山岳遭難救助活動事業について充実を図りながら継続していきたい。
--------------------	--